

5. 産学公連携

5.1 東京イノベーションハブの活用

都産技研では、西が丘本部に設置していた「東京イノベーションハブ」を充実・強化して、中小企業間の交流、企業と大学、学協会、研究機関等と交流・連携し、新たなビジネスを創出する場として約 400 m²のオープンスペースを本部に設置した。都産技研が主催する情報発信事業の他、学協会が有するシーズや研究成果などを都内中小企業の製品化・事業化へ生かすための学協会連携事業などを開催し産業交連携事業を推進した。

平成 23 年度の取り組みは以下の通りである。

(1) 都産技研主催

開催年月日	催事名
平成23年10月26～28日	産業交流展 2011 見学会
平成23年11月 9～10日	研究成果発表会（本部会場）
平成23年11月11日	2011 国際ロボット展 見学会
平成24年 1月16日	知的資産経営講座キックオフセミナー
平成24年 2月 2日	震災復興技術支援フォーラム 「震災を超えて次世代のものづくり企業の経営戦略」
平成24年 2月 9日	第 27 回東京都異業種交流グループ合同交流会
平成24年 3月 2日	第 5 回 TKF フォーラム

上記催事の他、平成 23 年度は本部開設関連事業や就職説明会等にも利用。

(2) 都産技研共催

開催年月日	催事名	他主催者
平成23年10月31日	技術者生活の安全・安心	中小規模材料加工実践技術経営研究会
平成23年11月19～20日	サイエンスアゴラ 2011	(独) 科学技術振興機構
平成23年12月 1日	1DCAE 公開シンポジウム ～高付加価値製品の開発に向けて～	(一社) 日本計算工学会
平成23年12月 8日	安全で省エネ・省資源社会の構築	(一社) 電気学会
平成23年12月12日	福祉ロボットの実用化	日本福祉工学会
平成23年12月16日	電析 Ni および Ni 合金めっきに関する研究会と施設見学	(社) 日本金属学会 ナノプレーティング研究会
平成24年 1月25日	公開シンポジウム 表面改質、めっき処理による金属材料の機械特性改善とその評価技術	日本材料試験技術協会
平成24年 1月27日	東京 FPGA カンファレンス 2011	(特非) FPGA コンソーシアム
平成24年 2月 7日	製品開発における EMI 規制と VCCI	(一財) VCCI 協会
平成24年 3月 9日	SICE 温度計測部会講演会 地球の温度を測る	(公社) 計測自動制御学会

(3) 都産技研後援

開催年月日	催事名	主催者
平成24年3月15～16日	HDMI Plugfest	(一社)組込みシステム技術協会

(4) 都産技研連携機関との催事

開催年月日	催事名	主催者
平成24年1月30日	平成 24 年度助成事業説明会	(公財)東京都中小企業振興公社
平成24年3月23日	クリエイティブ産業活性化ワーク ショップ	(独)産業技術総合研究所

5.2 コーディネート事業

コーディネート事業は、平成 21 年 4 月に東京都から都産技研に移管され本部を拠点として事業の推進を図ってきたが、平成 22 年 2 月からは多摩テクノプラザ開設に伴い、多摩テクノプラザを拠点とした多摩地域での事業も実施している。

産学公連携コーディネータは、本部では機械、電機、情報、化学、繊維などの分野で 5 名、多摩テクノプラザでは機械、電機、環境などの分野で 3 名の外部専門家に委嘱し、産学公連携に関わる相談、支援を行った。平成 23 年度の実績は以下の通りである。

相談件数 (件)

合計	内 訳	
	来所	電話、メール
674	364	310

成約件数 (件)

合計	内 訳			
	産・学	産・公	産・産	学・公
31	11	5	15	0

5.3 異業種交流事業

技術革新の急速な進展とともに、消費者ニーズの多様化・高度化など、社会経済環境が大きく変化している中で、経営資源が十分ではない中小企業が発展していくためには、業種を越えて互いの技術力やノウハウを提供し合い、新分野進出への方向性を探っていく異業種交流が有効な手段の一つとなる。こうした交流を促進するために、新しい異業種交流グループを発足させる「グループ形成支援」と既存グループ間の連携を促進する「グループ間交流支援」を行った。

(1) グループ形成支援

都産技研では、異業種交流グループ（旧称 技術交流プラザ）を昭和 59 年度から毎年新グループを発足させ、現在 22 グループ約 290 名の会員が活動している。

平成 23 年度は、本部および多摩テクノプラザにおいて異業種交流グループ会員を募集し、平成 23 年 7 月に新グループを結成した。各グループに専門の助言者を配置して、平成 24 年 3 月まで毎月 1 回定例会を開催し、自社紹介、都産技研施設の見学、懇親会などを実施した。

グループ名	開催日	回数	参加者数
本部グループ	7月～3月、各1回	9	153
多摩テクノプラザグループ	7月～3月、各1回	9	109

(2) グループ間交流支援

1) グループ協議会

グループ協議会は、既存グループが活動状況や計画を報告することでお互いのグループ活動の参考にするとともに、グループ間の交流を促進する目的で開催している。第 27 回合同交流会の開催についても検討を行い、開催を決定した。

会議名	開催日	参加グループ数（参加者数）
グループ協議会	6月2日	17(19)

2) 合同交流会および合同交流会実行委員会

グループ間の交流を深めるために、全グループのメンバーが一堂に会する第27回合同交流会を平成24年2月9日、本部（東京イノベーションハブ、講堂）にて開催した。本年度は「中小企業が新興国の興隆の波に乗るには」のテーマのもと、①製品展示会、②基調講演、③アフリカ・ギニア事情およびインドネシア事情の2分科会、④新グループ紹介などを実施した。開催に向けて、各グループから選任された委員による合同交流会実行委員会を設置し、実施内容を検討した。合同交流会および実行委員会の開催実績は以下の通りである。（なお、実行委員会開催回数は、4月に開催した前年度実行委員会1回を含む。）

会議名（開催日）	開催回数	参加者数
第27回合同交流会（2月9日）	1	200
合同交流会実行委員会	6	100

合同交流会

①製品展示会およびプレゼンテーション

製品展示企業数：52社（内、プレゼンテーション実施は16社）

②基調講演

演題：中小企業のアジア新興国に対するビジネス展開方法

講師：ベトナム経済研究所所長 窪田光純 氏

③分科会

1. アフリカ・ギニア事情 駐日ギニア大使 補佐官 オスマン・サンコン 氏

2. インドネシア事情 和光大学 経済経営学部 教授 バンバン・ルディアント 氏

3) 既存グループへの支援

自主運営に移行している既存の20グループに対し、会議室の利用、講演依頼への対応、情報の提供など、グループ活動への支援を行うとともに、グループ会員からの相談について対応した。定例会の開催などで既存異業種交流グループが都産技研を利用した実績は、以下の通りである。

会議名	利用回数	参加者数
定例会など	61	608

5.4 業種別交流会

業界が抱えている技術的な課題を含めたニーズを的確に把握し、各事業に反映するために業種別交流会を開催している。中小企業の技術力向上のために、業界の活動状況や技術的問題点、今後の取り組みなどについての情報や意見の交換を行った。

No.	業 界 名	開催年月日	企業参加者数 (都産技研)	内 容
1	東京鼈甲組合連合会	平成23年 5月13日	17 (7)	組合および商工部からの依頼試験、受託研究結果について報告後、組合から技術的課題に関する要望を受けた。
2	首都圏ガラスリサイクル業界	平成23年 6月22日	5 (4)	都産技研事業の説明および施設見学後、意見交換を行い、課題を抽出した。今後、業界各社の取り組みに対し支援を行う。
3	区内繊維関連業界	平成23年 7月28日	10 (9)	都産技研事業の説明を行い、区内繊維関連業界の活動状況や技術的問題点について意見交換を行った。
4	多摩繊維関連業界	平成23年 7月29日	12 (10)	都産技研および商工部事業について説明後、繊維関連業界の活動状況や技術的問題点について意見交換を行った。
5	東京都椅子張り技能士会	平成24年 1月17日	15 (4)	都産技研事業の説明後、意見交換を行った。業界から技術的課題に関する要望を受けた。
6	超音波応用懇談会	平成24年 1月24日	11 (4)	都産技研事業の取り組みについて説明を行い、要望に関して意見交換を行った。
7	東京鼈甲組合連合会	平成24年 3月27日	15 (7)	受託研究結果報告および新たなべっ甲製品の提案を行った後、今後の業界支援および取り組みに向けた要望を受けた。

5.5 技術研究会

技術力および技術開発力の向上を目指す中小企業の技術者とともに、今年度は新たに5件の技術研究会を設立し、製品開発など、技術情報の交換を積極的に行った。

No.	名 称	設立年月	活 動 目 的	企業延べ参加者数 (都産技研)	開催回数
1	計測制御研究懇談会	昭和52年 12月	計測制御技術の向上、研究発表会・講習会等の開催、情報収集等	37 (9)	8
2	化学技術研究会	昭和62年 4月	化学技術の向上、相互の技術交換	43 (5)	3
3	静電植毛加工技術研究会	昭和62年 4月	静電植毛に関する知識と技術の向上、研究討論会等の開催、技術資料の収集	12 (2)	1
4	超音波応用懇談会	昭和63年 3月	超音波および周辺技術に関する知識と技術の向上、異業種間の交流等	114 (19)	7
5	PC情報研究会	平成元年 7月	パソコンを主体とする情報機器の高度利用技術の研究、講習会の開催等	108 (42)	24
6	締結問題研究会	平成6年 2月	締結部品の製造に関する知識と技術の向上、講習会等の開催、技術資料の収集	40 (14)	4
7	トライボコーティング技術研究会	平成6年 11月	表面改質技術およびその評価法についての情報収集、情報交換、共同研究	30 (2)	1
8	城東デザイン研究会	平成7年 4月	デザインに関する情報収集、デザイン力の向上、製品企画・デザインにおける異業種間の連携促進等	69 (57)	19
9	東京都健康福祉技術研究会	平成8年 4月	健康・福祉に関する機器・用具・用品の技術と応用、管理運用についての研究	82 (21)	8
10	粉末冶金技術研究会	平成9年 4月	粉末冶金全般に関する技術について、情報収集、情報交換、共同研究等を実施	88 (5)	2
11	信頼性技術研究会	平成9年 4月	信頼性技術の向上、研究討論会・講演会等の開催、技術情報交換	151 (25)	12
12	CAD/CAM研究会	平成9年 4月	CAD/CAMソフトや各種工作機械に関する情報収集、製品開発における連携推進と技術情報交換	22 (3)	3
13	表面科学交流会	平成10年 4月	めっき会社を中心とした企業の連携を強化し表面科学に関する見聞を広める	17 (3)	2

No.	名 称	設 立 年 月	活 動 目 的	企業延べ 参加者数 (都産技研)	開催回数
14	ユニバーサルファッション製品の企画開発研究会	平成 13 年 10 月	ユニバーサルファッション製品および高齢者対応製品の開発支援・情報交換	148 (13)	12
15	制御システム研究会	平成 14 年 4 月	制御システム全般について、製品開発に必要な技術力の向上	80 (20)	5
16	照明技術研究会	平成 14 年 4 月	照明技術の研究、周辺技術に関する知識の向上のための情報交換	37 (11)	3
17	環境技術研究会	平成 14 年 5 月	環境汚染防止技術と資源有効利用技術について情報交換を行い、企業の活性化に寄与する	45 (47)	7
18	循環型技術研究会	平成 14 年 7 月	循環型技術の情報交換や、異業種交流・産学公連携による技術開発の場として活動する	12 (4)	2
19	八王子産地オリジナル製品開発研究会	平成 14 年 8 月	八王子産地オリジナル製品開発のためのデザイン情報の交換、販路の開拓等の勉強会を行う	78 (9)	4
20	東京温度検出端工業会技術懇談会	平成 18 年 4 月	温度センサーおよび貴金属メーカー間の技術交換、最新情報の共有	17 (3)	1
21	衣服圧研究会	平成 21 年 4 月	ストレッチ素材、ストレッチ製品の市場拡大と国際競争力強化	28 (3)	2
22	デザインマーケティング技術研究会	平成 23 年 4 月	デザイナーのセルフマーケティングについて研究。地域地場産業との合同プロジェクト体制や営業技術の研究	80 (23)	8
23	東京都ロボット研究会	平成 23 年 4 月	サービスロボットやその類似技術における技術面、ビジネスモデル、ブランド確立に向けた連携	179 (24)	12
24	航空宇宙部品製造技術研究会(アマテラス)	平成 23 年 10 月	航空宇宙産業におけるサプライヤーチェーンの構築、マーケットの獲得	15 (5)	1
25	塗膜性能評価研究会	平成 23 年 12 月	情報交換、共同調査・研究等を通じ、既存の技術にとらわれない新たな評価方法の検討・普及	9 (2)	1
26	ガラス技術交流会	平成 24 年 3 月	広くガラス技術に関して、会員相互の交流や国際交流を推進することで、技術者の活性化や新技術の理解習得を図る	30 (13)	3

5.6 行政等支援機関連携

5.6.1 協定・覚書締結一覧

大学をはじめ、産業支援機関や金融機関等と協定、覚書等を締結し、産業振興および中小企業振興のための事業連携を図っている。各機関との「協定書」、「覚書」の締結状況は以下の通りである。

機関名	協定書・覚書	締結年月日
公益財団法人東京都中小企業振興公社	協定書	平成18年 4月 1日
	覚書	平成19年 1月 4日
一般社団法人コラボ産学官	協定書	平成18年 8月10日
	秘密保持契約書	平成18年 9月 1日
産業技術大学院大学	協定書	平成19年 2月26日
公立大学法人首都大学東京	業務協定書	平成19年 3月15日
東洋バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター	協定書	平成20年 4月 1日
国立大学法人長岡技術科学大学	協定書	平成20年 8月26日
	覚書	平成21年 8月 6日
新宿区	協定書	平成20年 9月22日
東京都立多摩科学技術高等学校	覚書	平成20年10月14日
芝浦工業大学	協定書	平成21年 3月12日
	教育研究協力に関する協定	平成21年11月10日
板橋区	業務連携に関する覚書	平成21年 6月 3日
港区	協定書	平成21年 7月16日
多摩信用金庫	たましん事業支援センターの活用に関する覚書	平成21年 7月16日
府中市	覚書	平成22年 5月13日
さわやか信用金庫	覚書	平成22年 6月 1日
国連大学サステイナビリティと平和研究所	覚書	平成22年10月28日
独立行政法人産業技術総合研究所	協定書	平成22年11月24日
北区	覚書	平成23年 2月21日
財団法人まちみらい千代田	覚書	平成23年 4月14日

機関名	協定書・覚書	締結年月日
品川区	協定書	平成23年 6月 1日
東京都立産業技術高等専門学校	協定書	平成23年 9月12日
江東区	協定書	平成23年 9月14日
朝日信用金庫	協定書	平成24年 1月27日
一般財団法人機械振興協会	協定書	平成24年 3月 8日

5.6.2 大学等との連携

大学や研究機関等と各種事業や共同研究に取り組み、連携事業を推進した。

(1) 公立大学法人首都大学東京

- ・都市科学・産業技術連携戦略会議
全体会（2回）、フォローアップ部会（4回）、案件創出部会（2回）、
育成交流部会（1回）
- ・「環境・省エネ技術の開発」分野（平成22年度開始）で3テーマ、「安全・安心」分野
（平成23年度開始）で3テーマの共同研究を実施
- ・研究成果発表会（6月）で特別発表の講師を依頼
- ・共同研究2テーマ実施
- ・多摩テクノプラザ開設2周年記念イベント（2月）で記念講演を依頼
テーマ「水素エネルギーと自動車」
- ・インターンシップ2名受け入れ
- ・客員研究員として2名登録

(2) 産業技術大学院大学

- ・研究成果発表会（11月）で特別発表の講師を依頼
- ・日本設計工学会との連携事業（2月）で講演を依頼
- ・共同研究1テーマ実施

(3) 東京都立産業技術高等専門学校

- ・協定の締結 9月12日
両者の特徴と強みを生かしながら、「中小企業への技術支援」「産業振興に貢献する
実践的技術者の育成」などにおいて連携・協力する。
- ・多摩テクノプラザ「子ども科学技術教室～夏休みものづくり体験！～」(8月)で講師を
依頼
- ・教員の本部見学会および交流会（3月）

(4) 芝浦工業大学

- ・連携大学院生1名受け入れ

- ・客員教員として4名登録
- ・芝浦ハッケン展の後援（12月）
- ・産学官連携課の本部見学会および情報交換会（12月）

(5) 国立大学法人長岡技術科学大学

- ・実務訓練生1名受け入れ（10～2月）

(6) 東京都多摩科学技術高等学校

- ・技術アドバイザー派遣（7月）
 テーマ「リソグラフィ入門ー分子サイズに近づく半導体ー」
 講師 電子半導体技術グループ 加澤エリト
- ・開校記念式典出席（10月）

(7) 独立行政法人産業技術総合研究所

- ・技術経営アドバイザーの推薦と人材交流
- ・知的資産経営講座への研究員参加（1月）
- ・幹部職員の本部見学および意見交換会（12月）
- ・クリエイティブ産業活性化ワークショップーデジタルコンテンツでクリエイターとユーザーをつなぐー共催（3月）
- ・デジタルヒューマン・シンポジウム2012の後援

(8) コラボ産学官

- ・第5回研究成果発表会へ都産技研研究員を派遣
 テーマ「省エネに役立つLED電球とはーメリット・デメリットを分析するー」
 講師 実証試験セクター 三上和正
- ・第5回(7月)および第6回(2月)研究成果発表会の後援

(9) 一般財団法人機械振興協会

- ・協定の締結 3月8日
 これまで行っていた個別の連携を組織的な連携へと発展させることで、より一層の連携・協働関係を構築し、中小企業にとって有効な技術支援、情報提供などを実施する。

5.6.3 区市町村等との連携

地域の中小企業を支援している区市町村等との連携強化に努め、産学公連携に関する技術相談支援の拡大をはじめ、都産技研利用企業への利用料補助制度の実施など、企業支援の充実を図った。平成23年度の取り組みは以下の通りである。

(1) 区部との連携

1) 城東地域

① 江東区

- ・第7回こうとう産学交流会（7月）
- ・業務連携に関する協定書を締結 9月14日
 企業等の支援に関する業務を連携・協働して実施することにより、地域連携を

深め、地域産業のより一層の活性化を図る。

- ・産学公連携事業ものづくり企業の本部見学会（12月）

②葛飾区

- ・城東支所「施設公開」を葛飾区産業フェアと同時開催（10月）
- ・副区長、商工振興課、東商葛飾支部、企業の本部見学会（12月）
- ・産学公連携協議会（2回）
- ・産学公連携協議会 東京理科大学野田キャンパス視察（3月）

③足立区

- ・足立ブランドFC足立交流会の技術セミナー（足立区役所）（6月）
- ・足立区産業経済部、FC足立企業の本部見学会（11月）
- ・都産技研利用料補助を実施

対象：依頼試験、機器利用等の経費 最大5万円まで

④荒川区

- ・産業経済部、企業の本部見学会（12月）
- ・都産技研利用料助成を実施

対象：依頼試験、機器利用等の経費 最大5万円まで

2)城南地域

①品川区

- ・業務連携に関する協定書を締結 6月1日

両者の取り組みの特徴を生かした連携・協働関係を構築し、中小企業の製品化や事業化に向けた支援、中小企業にとって有効な情報提供など連携事業を実施する。

- ・都産技研利用料助成を8月より開始

対象：実地技術支援、依頼試験、機器利用等の経費 最大10万円まで

- ・産業会と区長との懇談会（産業振興懇談会）（9月）
- ・品川ビジネスクラブの本部見学会（11月）

②大田区

- ・第4回大田区加工技術展示商談会への出展（7月）
- ・第8回中小企業都市サミット（おおたサミット）においてパネル展示（8月）
- ・城南支所「施設公開」を第1回大田区おおた研究・開発フェアと同時開催（10月）
- ・おおた工業フェア2012にパンフレット展示（2月）

3)城北地域

①北区

- ・区内企業向けアンケートへの協力
- ・都産技研・北区・板橋区共催セミナー開催「経営戦略のためのデザイン」（会場：北とぴあ）（3月）
- ・ものづくり夜間大学校（板橋区と共催）の本部見学会（2月）

②板橋区

- ・第15回いたばし産業見本市への出展（11月）
- ・板橋産業技術支援センター開設のための技術相談員のオーダーメイドセミナー実

施（11～12月）

- ・都産技研・板橋区・北区共催セミナー開催「RoHS 指令・REACH 規制の動向と対策」（会場：ハイライフプラザ板橋）（12月）
- ・板橋産業技術支援センター開所式（2月）

③KICC プロジェクト（北区板橋区産業集積地域共同体）

- ・西が丘本部東京イノベーション・ハブ室の活用 3回

4)都心・副都心地域

①千代田区

- ・財団法人まちみらい千代田と覚書を締結 4月14日
企業等の支援に関する業務を連携・協働して実施することにより、地域産業の活性化を図る。特に、区内企業の技術相談や技術審査を重点実施事業とする。
- ・第4回千代田ビジネス大賞諮問委員派遣
- ・実地技術支援の利用料助成
対象：実地技術支援 1回10,000円を助成

②港区

- ・実地技術支援の利用料補助
対象：実地技術支援 1回11,200円を最大年間8回まで補助
- ・港区企業間連携講演会で都産技研の研究事業および共同研究成果紹介（11月）

③豊島区

- ・第4回としまものづくりメッセへの出展（3月）

(2)多摩地域との連携

1)八王子市

- ・企業支援統合コーディネート事業へ協力（9月）

2)府中市

- ・第22回府中市工業技術展「ふちゅうテクノフェア」への出展（10月）
- ・第22回府中市工業技術展でものづくりセミナーを開催（10月）
- ・府中市役所経済観光課の多摩テクノプラザ見学会（12月）

3)昭島市

- ・多摩テクノプラザ利用料を助成
対象：依頼試験、機器利用等の経費 最大年間2万円まで
- ・昭島観光まちづくり協会事業協力（2回）
- ・中学校職場体験受け入れ（9月）
- ・昭島市役所秘書広報課見の多摩テクノプラザ学会（11月）

4)立川市

- ・小学校教員の多摩テクノプラザ見学会（9月）
- ・中学校職場体験受け入れ（9月）

5)たま工業交流展への出展（2月）

- ・会場である多摩職業能力開発センター人材育成プラザで実施後、多摩テクノプラザ見学会を実施

6) その他

- ・都立多摩工業高校インターンシップ受け入れ（12月）

(3) 東京都立職業能力開発センターとの連携

- ・産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデーを多摩職業能力開発センター技能祭と同時開催（10月）
- ・多摩テクノプラザ開設2周年講演会への会場提供を依頼
- ・城南職業能力開発センター技能祭へ出展（11月）
- ・城南職業能力開発センター大田校への製品強度と機械加工等のオーダーメイドセミナーを実施（11月）

(4) 金融機関等との連携

① さわやか信用金庫

- ・第7回ビジネスフェアへの出展（6月）
- ・幹部職員、支店長などの城南支所見学会（6月）

② 朝日信用金庫

- ・協定の締結 1月27日
都内城東・城北地域の中小企業支援を強化するため、この地域での地域密着型金融機関である朝日信用金庫と連携・協働関係を構築し、中小企業にとって有効な技術支援、情報提供などを迅速に実施する。
- ・朝日信用金庫顧客企業の本部見学会（2月）

③ 多摩信用金庫

- ・震災復興技術支援フォーラム共催（9月）
- ・多摩ブルー・グリーン賞選考委員会（4回）

④ 西武信用金庫

- ・ビジネスフェア from TAMA（11月）

⑤ 青梅信用金庫

- ・あおしんビジネスマッチング大会（10月）
- ・職員の多摩テクノプラザ見学会（11月）

⑥ 西京信用金庫

- ・ビジネス交流会（4月）および産学交流セミナー各種相談会（6月、11月）に産学公連携コーディネータを派遣

(5) その他の連携

① 一般社団法人首都圏産業活性化協会

- ・ミニ TAMA 三多摩会への参加（5月）

② 経済産業省

- ・中小企業の海外展開支援事業として「中小企業のため輸出者等遵守基準説明会」を開催（2月）

(6) 自治体が発行する技術審査・表彰事業への協力

- ・港区：港区新製品・新技術開発支援事業（3回）
- ・新宿区：新宿ものづくりマイスター認定事業実技審査（1回）

- ・文京区：文京区新製品等開発・販路拡大補助事業（2回）
- ・台東区：台東区新製品新技術開発支援事業等審査会（1回）
- ・江東区：江東区中小企業新製品・新技術開発補助事業（4回）、江東区産学連携共同研究（2回）
- ・品川区：品川区環境ビジネス支援事業（2回）、新製品・新技術開発促進事業（2回）
- ・大田区：（財）大田区産業振興協会評議委員、大田区新製品・新技術開発支援事業審査会（6回）、大田区中小企業新製品・新技術コンクール審査会（5回）、ものづくり新製品・新技術実用化緊急支援事業（4回）
- ・豊島区：としまものづくりメッセ実行委員（2回）
- ・北区：北区新製品・新技術開発支援事業（3回）、北区産業振興会議委員（1回）、北区きらりと光るモノづくり顕彰（1回）
- ・板橋区：いたばし産業見本市実行委員会（4回）、板橋ものづくり委員会、板橋経営品質賞認定委員会（2回）、板橋新産業育成プラザ検討会（4回）、板橋製品技術大賞（4回）
- ・足立区：あだちブランド認定選考委員会（3回）、足立区経済活性化推進協議会
- ・葛飾区：葛飾区産業フェア実行委員（6回）、葛飾区内官公署長連絡協議会委員（2回）、東商葛飾支部役員会委員（6回）、葛飾区優良工場審査会（2回）、葛飾区新製品・新技術開発等補助金交付審査会（2回）、葛飾ブランド「葛飾町工場物語」審査（3回）
- ・八王子市：先端技術センター運営委員会（2回）、八王子市地域ものづくり産業活性化協議会（1回）、八王子市新製品・新技術開発等支援事業審査（1回）
- ・青梅市：おうめものづくり支援事業補助金交付審査会（2回）、青梅市工業振興対策審議会（2回）
- ・府中市：府中市新製品・新技術開発支援事業（2回）

5.6.4 公益財団法人東京都中小企業振興公社との連携

都内中小企業の振興を図るため、平成18年、公益財団法人東京都中小企業振興公社（以下「公社」という）と協定を締結し、各種事業を協力して実施している。

都産技研の城東、城南の各支所長がそれぞれ東京都城東地域中小企業振興センター、東京都城南地域中小企業振興センターのセンター長を兼任し、技術支援および経営支援を統轄する体制を整えている。また、産業サポートスクエア・TAMAでは、多摩テクノプラザが主体となる「産業サポートスクエア TAMA 運営協議会」を設置し、中小企業振興の総合的支援および事業運営を協力して実施している。

(1) 公社本社との連携

- ・連携推進会議の開催（2回）
- ・公社主催
 - 「地域産業資源活用マッチング2011」で2研究テーマを発表
 - テーマ名 「非接触型センサと無線ノードを用いた電力監視システム」
 - 発表者 情報技術グループ 武田有志
 - テーマ名 「水拡散膜を用いた冷却シートの開発」
 - 発表者 材料技術グループ 飛澤泰樹
- ・共催セミナー「研究開発にすぐ役立つ実践 MOT（技術経営）講座」開催
「被災地企業コラボレーション商談会」の技術相談コーナーへ研究員を派遣
(9月宮城県、3月福島県)

- ・ 公社人材ナビゲータの都産技研見学会および産業人材育成事業担当者との意見交換会実施
- ・ 平成 24 年度助成事業説明会を都産技研本部東京イノベーションハブで開催
- ・ 各種助成事業などでの技術審査協力
- ・ 事業可能性評価事業成果発表会を都産技研本部会議室で開催
- ・ 「東京の伝統的工芸品チャレンジ大賞」後援
- ・ 公社広報誌「アーガス 21」への記事掲載
「あらためて知っておきたい技術のはなし」(全 4 回)、各種事業案内
- ・ 「都産技研メールニュース」への公社記事掲載
- ・ 各種事業案内チラシ等を相互に配架 など

(2) 地域中小企業振興センターとの連携

- ・ 実践ものづくり中核人材育成事業「売れる製品開発道場」支援(城南支所)
- ・ 施設公開(城東・城南支所)の共催
- ・ 技術支援と経営相談の連携相談および実地技術支援を実施
- ・ 公社事業へのポスターやチラシなどのデザイン協力
- ・ 運営協議会・連絡協議会、合同消防訓練の実施 など

(3) 「産業サポートスクエア・TAMA」での連携

- ・ 施設公開(産業サポートスクエア・TAMA 一般公開)の共催
- ・ 産業サポートスクエア・TAMA 開設 2 周年記念イベント「次世代自動車技術と先端車両」開催
- ・ 公社コラボレーション交流会および公社コラボレーション研究会へ産学公連携コーディネータを派遣
- ・ 技術支援と経営相談の連携相談を実施
- ・ 都産技研産学公連携コーディネータによる事業紹介
- ・ 「たま工業交流展」への出展協力
- ・ 創業支援施設「インキュベーション・TAMA」運営協力
- ・ 運営協議会、合同消防防災訓練の実施 など

(4) 多摩・産業コミュニティ活性化プロジェクトへの協力と連携

東京都の都市機能活用型産業振興プロジェクト推進事業の一環として、公社多摩支社が推進機構事務局となり、東京都および都産技研が協力・連携して成長産業分野ごとのコミュニティの形成を促進した。

- ・ 各推進機構に技術専門家として担当者を配置した活動支援
- ・ 各推進機構の事業進行を検討する連絡会議、戦略会議、合同会議への参加
- ・ 各分野の定期的な会合による情報交換
- ・ 連携推進フォーラム後援

(5) 東京都知的財産総合センターとの連携

- ・ 東京都知的財産総合センター(以下「知財センター」という)の専門相談員による特許相談(面談、電話)を本部相談ブースで実施
- ・ 東京都知的財産活用本部知的財産研究会への出席

- ・都産技研職務発明審査会への知財センター専門相談員の出席（7回）
- ・知財センター専門相談員による都産技研職員向け知財セミナーの開催
- ・知財センター主催セミナーへの参加 など

5.6.5 首都圏公設試験研究機関との連携

平成14年度より東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県が連携し、都県域の枠にとらわれず、域内の中小企業の技術支援をするために、首都圏公設試験研究機関連携体（首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ(TKF)）を設立した。平成20年度からは横浜市も参加し、5機関体制となった。TKFではウェブサイトの運営や、「繊維評価技術」「IT・情報」「微細加工技術」「高分子材料」「デザイン」「熱処理・表面処理」の技術分野における研究員の情報交換を目的としたパートナーグループの活動を通じて、相互の交流を進めている。平成21年度には新たに「バイオ技術」パートナーグループが設立された。

連携の具体的な方向性などについて検討するために、定期的に首都圏公設試験連携推進会議を開催している。また、TKF事業の成果発表の場としてTKFフォーラムを企画し、連携の充実を図っている。

平成23年度は以下の通り会議を開催した。

	開催年月日	開催場所	参加機関	出席者数
1	平成23年 6月3日	埼玉県産業技術 総合センター 交流サロン	5機関（都産技研、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技術センター、横浜市工業技術支援センター）、関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、(独)産業技術総合研究所	23名
2	平成23年 10月24日	神奈川県庁 新庁舎12F会議室	5機関、関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、(独)産業技術総合研究所	23名
3	平成24年 3月2日	都産技研 本部 233会議室	5機関、関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、(独)産業技術総合研究所、長野県工業技術総合センター	19名
4	第5回 TKF フォーラム 平成24年 3月2日	都産技研 本部 東京イノベーション ジョンハブ	5機関、関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、(独)産業技術総合研究所、長野県工業技術総合センター	133名

また、他機関で実施する研究発表会に、都産技研の職員を派遣して広く技術の普及活動を行った。発表タイトル等は以下の通りである。

No.	発表タイトル	発表者	開催年月日	場所	大会等の名称
1	三次元造形機を用いた製品の設計製作 ～造形精度と強度特性の評価～	小船論史 阿保友二郎 西川康博	平成23年 7月28日	千葉県産業支援技術研究所 天台庁舎	千葉県産業支援技術研究所 平成23年度研究成果発表会
2	導電性セラミックス工具を用いた冷間圧延鋼板のドライ角形せん断加工	玉置賢次	平成23年 7月28日	千葉県産業支援技術研究所 天台庁舎	千葉県産業支援技術研究所 平成23年度研究成果発表会
3	促進酸化法による水中有機物質の分解処理	田熊保彦 杉森博和 安藤恵理	平成23年 10月21日	埼玉県産業技術総合センター	平成23年度 SAITEC 研究発表会

No.	発表タイトル	発表者	開催年月日	場所	大会等の名称
4	100%バイオマス成形材料を利用した商品開発	木下稔夫 神谷嘉美 村井まどか 木暮尊志 山内友貴 他2名	平成23年 10月21日	埼玉県産業技術総合センター	平成23年度 SAITEC 研究発表会
5	放射妨害波測定における電源ケーブルの影響調査	大橋弘幸 高橋文緒	平成23年 11月9日	神奈川県産業技術センター	平成23年度 神奈川県ものづくり技術交流会
6	絹織物への膨潤剤を用いたブリーツ加工	武田浩司 木村千明 小林研吾	平成23年 11月10日	神奈川県産業技術センター	平成23年度 神奈川県ものづくり技術交流会
7	衣服圧測定を考慮した柔らかなダミーの開発	菅谷紘子 岩崎謙次	平成23年 11月10日	神奈川県産業技術センター	平成23年度 神奈川県ものづくり技術交流会

5.6.6 産業技術連携推進会議

産業技術連携推進会議は、全国の公設試験研究機関および国が相互に連携し、効率的な事業運営を図るために、機関相互の情報交換や連絡調整、国への要望等の議題で開催されている。

産業技術連携推進会議の組織には、技術分野別の部会、分科会、研究会があり、技術情報の交換、共同研究、現地研修、研究発表等の活動が行われている。

平成23年度の参加実績は以下の通りである。

	開催年月日	会議名	開催場所
1	平成23年 5月26日	製造プロセス部会 プロセス技術分科会 生産情報・メカトロニクス研究会	岡山市
2	平成23年 6月9・10日	ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会総会	十日町市
3	平成23年 6月9・10日	ライフサイエンス部会デザイン分科会	徳島市
4	平成23年 7月14・15日	繊維分科会デザイン研究会	桐生市
5	平成23年 8月30日	地域部会産業技術文科会総会	江東区
6	平成23年 9月8・9日	ナノテクノロジー・材料部会セラミックス分科会 第58回総会	江東区
7	平成23年 9月29・30日	製造プロセス部会 第18回表面技術分科会	京都市
8	平成23年 9月29・30日	ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 繊維試験法研究会	福井市
9	平成23年 10月6・7日	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会情報通信研究会	札幌市
10	平成23年 10月6・7日	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第5回 音・振動研究会	大阪市
11	平成23年 10月26・27日	繊維分科会第2回幹事会及び全国繊維工業技術協会役員会	岡山市

	開催年月日	会議名	開催場所
12	平成 23 年 10 月 27・28 日	ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 第 49 回 全国繊維技術交流プラザ	岡山市
13	平成 23 年 10 月 27・28 日	ナノテクノロジー・材料部会 第 49 回高分子分科会	神戸市
14	平成 23 年 11 月 1・2 日	ナノテクノロジー・材料部会 ガラス材料技術分科会 第 5 回ガラス材料技術分科会総会・研修会	池田市
15	平成 23 年 11 月 1・2 日	製造・プロセス部会 塗装工学分科会	江東区
16	平成 23 年 11 月 10・11 日	情報通信・エレクトロニクス部会 第 16 回電磁環境分科会及び第 21 回 EMC 研究会	高松市
17	平成 23 年 11 月 11 日	繊維分科会 関東・東北地域連絡会 繊維測定技術研究会	足利市
18	平成 23 年 11 月 15 日	情報通信・エレクトロニクス部会 第 5 回情報技術分科会及び第 9 回組込み技術研究会	江東区
19	平成 23 年 11 月 18 日	ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 関東・東北地域連絡会 生産技術研究会	熊谷市
20	平成 23 年 11 月 24・25 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 平成 23 年度 繊維技術研究会	泉佐野市
21	平成 23 年 12 月 1・2 日	知的基盤部会総会および計測分科会 第 43 回温度・熱研究会	熊本市
22	平成 23 年 12 月 1・2 日	知的基盤部会総会及び計測分科会 分析分科会年会	熊本市
23	平成 23 年 12 月 1・2 日	知的基盤部会総会および計測分科会 第 7 回 材料評価技術研究会	熊本市
24	平成 23 年 12 月 1・2 日	知的基盤部会総会および計測分科会 第 11 回 形状計測研究会	熊本市
25	平成 23 年 12 月 1・2 日	情報通信・エレクトロニクス部会 第 7 回電子技術分科会並 びに第 12 回実装・信頼性研究会及び第 12 回高機能材料・ デバイス研究会	海老名市
26	平成 23 年 12 月 2 日	地域産技連会議	海老名市
27	平成 23 年 12 月 8・9 日	材料・ナノテクノロジー材料部会 セラミックス技術担当者会議	名古屋市
28	平成 24 年 1 月 27 日	東北地域部会 物質・材料・デザイン分科会	仙台市
29	平成 24 年 1 月 31 日・2 月 1 日	第 11 回 産総研・産技連 LS-BT 合同研究発表会	つくば市
30	平成 24 年 2 月 2・3 日	ナノテクノロジー・材料部会総会	つくば市
31	平成 24 年 3 月 9 日	総会	千代田区

また、各会議において、都産技研の事業紹介や研究成果等の発表を行った。発表タイトル等は以下の通りである。

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会等の名称
1	迅速に脱衣可能な防護服の開発	加藤貴司	平成 23 年 7 月 14 日	群馬県繊維 工業試験場	産業技術連携推進会議 繊維分科会 デザイン研究会
2	「プラズマ処理不織布の表面改質評価」	榎本一郎	平成 23 年 9 月 29 日	福井市地域交 流プラザ	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材 料部会繊維分科会 繊維試験法研究会
3	インタラクティブ型触覚ディスプレイの開発	島田茂伸	平成 23 年 10 月 5 日	(独)産業技術 総合研究所 臨海副都心セ ンター	産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 医療福祉技術分科会 第 13 回福祉技術シンポ ジウム
4	東京都立産業技術研究センター新音響実験室の紹介	西沢啓子	平成 23 年 10 月 6 日	(独)産業技術 総合研究所	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロ ニクス部会 情報技術 分科会 第 5 回音・振動研究会
5	計測器による試験事例及び新計測器と新本部のご紹介	仲村将司	平成 23 年 10 月 7 日	北海道立総合 研究機構工業 試験場 第一会議室	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロ ニクス部会 情報技術 分科会
6	プラスチックの耐候性に関する共同研究報告	清水研一	平成 23 年 10 月 27 日	神戸商工会議 所会館・クオリ ティホテル神 戸	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材 料部会 第 49 回高分子 分科会
7	迅速に脱衣可能な防護服の開発	加藤貴司 平山明浩 藤田薫子 他 3 名	平成 23 年 10 月 27 日	岡山後楽園 鶴鳴館	全国繊維工業技術協会 第 49 回全国繊維技術交 流プラザ研究成果発表 会
8	CG 技術を用いた伝統的工芸品の新規製品開発	原めぐみ	平成 23 年 10 月 27 日	岡山後楽園 鶴鳴館	全国繊維工業技術協会 第 49 回全国繊維技術交 流プラザ研究成果発表 会
9	超微小押し込み硬さ試験機を用いたガラスの硬さ評価	陸井史子	平成 23 年 11 月 1 日	(独) 産業技術 総合研究所 関西センター	産業技術連携推進会議 ナノテク材料部会ガラ ス材料技術分科会 第 5 回ガラス材料技術 分科会・総会
10	東京都立産業技術研究センター新本部の紹介	田中実	平成 23 年 11 月 1 日	(独) 産業技術 総合研究所 関西センター	産業技術連携推進会議 ナノテク材料部会ガラ ス材料技術分科会 第 5 回ガラス材料技術 分科会総会
11	塗装技術分野サポイン指定への産業界の取組	木下稔夫	平成 23 年 11 月 2 日	都産技研 本部	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 第 19 回塗装工学分科会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会等の名称
12	漆を用いた 100%バイオマス成形材料を利用した商品開発	木下稔夫 神谷嘉美 村井まどか 木暮尊志 山内友貴 他 2 名	平成 23 年 11 月 2 日	都産技研 本部	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 第 19 回塗装工学分科会
13	放射電磁界測定での電源線の影響による電波暗室間の差異検証	大橋弘幸	平成 23 年 11 月 11 日	高松シンボル タワー 香川産業頭脳 化センター	産業技術連携推進会議 電磁環境分科会 第 16 回電磁環境分科会 第 21 回 EMC 研究会
14	JIS L 0855 窒素酸化物に対する染色堅ろう度試験方法の改善策、ポリウレタンコーティング生地の変色原因	岡田明子	平成 23 年 11 月 11 日	栃木県産業技 術センター	産業技術連携推進会議 推進会議ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 関東・東北地域連絡会
15	機能安全規格改正版の JIS 化への取り組み	入月康晴	平成 23 年 11 月 15 日	都産技研 本部	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロ ニクス部会 第 5 回情 報技術分科会及び第 9 回組込み技術研究会
16	熱流解析を通じた製品開発支援の取り組み	富山真一	平成 23 年 11 月 15 日	都産技研 本部	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロ ニクス部会 第 5 回情 報技術分科会および 第 9 回組込み技術研究 会
17	金属繊維の撚糸試作とセンサへの応用	窪寺健吾	平成 23 年 11 月 18 日	埼玉県産業総 合センター 北部研究所	産業技術連携推進会議 繊維分科会 関東・東 北地域連絡会 生産技 術連絡会
18	金属繊維編成用 DLC コーティング編針の開発	堀江暁	平成 23 年 11 月 24 日	泉佐野市立地 場産業支援セ ンター	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材 料部会繊維分科会平成 23 年度繊維技術研究会
19	局在プラズモン共鳴を用いたガスセンサの開発	加澤エリト	平成 23 年 12 月 1 日	神奈川県産業 技術センター	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロ ニクス部会 電子技術 分科会 第 12 回高機能材料・デ バイス研究会
20	都産技研の震災復興への取り組み	小林丈士	平成 23 年 12 月 1 日	神奈川県産業 技術センター	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロ ニクス部会 電子技術 分科会 第 7 回電子技 術分科会
21	電子半導体技術 G における IC の断面観察事例	小宮一毅	平成 23 年 12 月 1 日	神奈川県産業 技術研究セン ター	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロ ニクス部会 電子技術分科 会 第 7 回電子技術分科会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会等の名称
22	実用型共晶点実現の不確かさ評価	佐々木正史	平成 23 年 12 月 1 日	KKR ホテル熊本	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 第 40 回計測分科会 第 43 回温度・熱研究会
23	Co-C 共晶点実現の不確かさ評価	沼尻治彦	平成 23 年 12 月 1 日	KKR ホテル熊本	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 第 40 回計測分科会 第 43 回温度・熱研究会
24	赤外線領域における絶対反射率測定の見直し	中島敏晴	平成 23 年 12 月 1 日	KKR ホテル熊本	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 第 40 回計測分科会 第 43 回温度・熱研究会
25	測容器具の正しい使用方法	林英男	平成 23 年 12 月 1 日	KKR ホテル熊本	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 分析分科会年会
26	本部紹介とガラス技術のブランド化	大久保一宏 増田優子 吉野徹	平成 23 年 12 月 8 日	(独)産業技術 総合研究所 中部センター	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会セラミックス分科会 第 46 回セラミックス技術担当者会議
27	東京都立産業技術研究センターに設置された熱処理木材製ルーバーについて	村井まどか	平成 23 年 12 月 16 日	都産技研 本部	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会 第 5 回木質科学分科会
28	射出成形金型のゲート幅が金型内流動に及ぼす影響	安田 健 清水研一 福田良司	平成 24 年 1 月 27 日	小田急仙台ビル	産業技術連携推進会議 東北地域部会 物質・材料・デザイン分科会 第 24 回べにばなコンファランス
29	放射線照射食品検知法の実用化と装置開発	関口正之 大藪淑美 中川清子 柚木俊二	平成 24 年 1 月 31 日	(独)産業技術 総合研究所 つくばセンター	産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 バイオテクノロジー分科会 第 11 回産総研-産技連 LS-BT 合同研究発表会
30	都産技研におけるバイオ産業支援	大藪淑美 関口正之	平成 24 年 1 月 31 日	(独)産業技術 総合研究所 つくばセンター	産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 バイオテクノロジー分科会 第 11 回産総研・産技連 LS-BT 合同研究発表会
31	東京都立産業技術研究センター紹介	田中実	平成 24 年 2 月 2 日	(独)産業技術 総合研究所 つくばセンター	産業技術連携推進会議 ナノテク材料部会、製造プロセス部会 平成 23 年度産技連ナノテク材料部会、製造プロセス部会合同研究発表会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会等の名称
32	東京都立産業技術研究センター実証試験セクターの紹介	田中実	平成 24 年 2 月 2 日	(独)産業技術 総合研究所 つくばセンター	産業技術連携推進会議 ナノテク材料部会、製造 プロセス部会 平成 23 年度産技連ナノ テク材料部会、製造プ ロセス部会合同研究発 表会
33	射出成形金型のゲート幅が 金型内流動に及ぼす影響	安田 健 清水研一 福田良司	平成 24 年 2 月 2 日	(独)産業技術 総合研究所 つくばセンター	産業技術連携推進会議 ナノテク材料部会 総 会
34	プラスチックの耐候性に関 する共同研究	清水研一	平成 24 年 2 月 2 日	(独)産業技術 総合研究所 つくばセンター	産業技術連携推進会議 ナノテク材料部会、製 造プロセス部会 平成 23 年度産技連ナノ テク材料部会、製造プ ロセス部会合同研究発 表会
35	未利用バナナ繊維を用いた 脂肪族ポリエステル改質	梶山哲人 安田健	平成 24 年 2 月 2 日	(独)産業技術 総合研究所 つくばセンター 共用講堂	産業技術連携推進会議 ナノテク材料部会、製 造プロセス部会 平成 23 年度産技連ナノ テク材料部会、製造プ ロセス部会合同研究発 表会

5.6.7 学協会連携事業

学協会が有するシーズを都内中小企業のものづくりに生かすため、中小企業と学協会との連携を推進する学協会連携事業を実施した。平成 23 年度に実施した事業は以下の通りである。

開催年月日	連携学協会	連携事業名	参加者 (名)	会場
平成 23 年 10 月 31 日	中小規模材料加工実践技術経営研究会	技術者生活の安全・安心	56	東京イノベーションハブ
平成 23 年 11 月 22 日	(公社)日本セラミックス協会	セラミックス化学分析技術セミナー	33	会議室 531
平成 23 年 12 月 1 日	(一社)日本計算工学会	1DCAE 公開シンポジウム 高付加価値製品の開発に向けて	98	東京イノベーションハブ
平成 23 年 12 月 8 日	(一社)電気学会	安全で省エネ・省資源社会の構築	50	東京イノベーションハブ
平成 23 年 12 月 12 日	日本福祉工学会	福祉ロボットの実用化	40	東京イノベーションハブ
平成 23 年 12 月 16 日	(社)日本金属学会	電析 Ni および Ni 合金めっきに関する研究会と施設見学	66	東京イノベーションハブ
平成 24 年 1 月 20 日	(一社)日本機械学会東京ブロック	音・振動問題とのつきあい方	72	講堂
平成 24 年 1 月 25 日	日本材料試験技術協会	表面改質、めっき処理による金属材料の機械特性改善とその評価技術	60	東京イノベーションハブ
平成 24 年 1 月 27 日	(特非)FPGA コンソーシアム	東京 FPGA カンファレンス 2011	111	東京イノベーションハブ

開催年月日	連携学協会	連携事業名	参加者 (名)	会場
平成 24 年 2 月 7 日	(一財)VCCI 協会	製品開発における EMI 規制と VCCI	95	東京イノベーション ションハブ
平成 24 年 2 月 16 日	(一社)日本塑性加工学会	アジアに向かう金型技術戦略 を問う	84	会議室 531
平成 24 年 2 月 22 日	(公社)日本設計工学会	心惹かれる工学設計の基礎講 習ー造形デザインを工学設計 に取り込む極意ー	48	会議室 531
平成 24 年 3 月 9 日	(公社)計測自動制御学会	SICE 温度計測部会講演会 地球の温度を測る	36	東京イノベー ションハブ
平成 24 年 3 月 16 日	日本海水学会	ミニシンポジウム海水、塩、 食品などの分析に関する最近 の進歩と話題	15	研修室 243

また、各連携事業において、都産技研の事業紹介や研究成果等の発表を行った。発表タイトル等は以下の通りである。

発表タイトル	発表者	開催年月日	連携学協会
原発事故にかかわる放射線の基礎と測定方法	武藤利雄	平成 23 年 11 月 22 日	(公社)日本セラミックス協会
東京都立産業技術研究センターの紹介	小森谷清	平成 23 年 12 月 1 日	(一社)日本計算工学会
直管型 LED ランプの性能評価	栢健一	平成 23 年 12 月 8 日	(一社)電気学会
視覚障害者のための双方向コミュニケーションディスプレイ	島田茂伸	平成 23 年 12 月 12 日	日本福祉工学会
クエン酸ニッケルめっきの開発その後	土井正	平成 23 年 12 月 16 日	(社)日本金属学会
振動試験の進め方とトラブル事例紹介	福田良司	平成 24 年 1 月 20 日	(一社)日本機械学会東京 ブロック
金属繊維用編針への DLC 膜の適用	川口雅弘	平成 24 年 1 月 25 日	日本材料試験技術協会
非同期式设计による FPGA 向け省電力化手法 ～更なる低電力化へのアプローチ～	岡部忠	平成 24 年 1 月 27 日	(特非)FPGA コンソーシアム
東京都立産業技術研究センター新本部紹介	小林丈士	平成 24 年 2 月 7 日	(一財)VCCI 協会
中小企業の国際競争力強化	片岡正俊	平成 24 年 2 月 16 日	(一社)日本塑性加工学会
東京都立産業技術研究センターシステムデザ インセクター紹介	坂下和広	平成 24 年 2 月 22 日	(公社)日本設計工学会
分析化学における測定値の取り扱いと分析値 への整理	上本道久	平成 24 年 3 月 16 日	日本海水学会